

# 平城宮・京と同範・異範の軒瓦

平城宮跡発掘調査部

1992年から1993年にかけて平城宮・京式と同範の軒瓦の調査を行った。いかに概要を記す。

## A 同範瓦

- ①近江膳所廃寺の南5～600mの地出土6235B——平城宮6235Bと同範——保良宮の瓦だろう
- ②河内国分寺及び河内百済寺6663H——平城薬師寺6663Hと同範——国分寺例が古い
- ③丹波国分寺6236D・6725A——唐招提寺金堂6236D・6725Aと同範——範・工人の移動
- ④伊予国分寺6304D——大安寺6304Dと同範——近世・近代に瓦が運ばれたものか
- ⑤下野薬師寺6682E——興福寺6682E——播磨本町遺跡6682E——播磨溝口廃寺6682E
- ⑥下野薬師寺6307新種——興福寺6307新種——播磨溝口廃寺6307新種——⑤・⑥は組み合わせ
- ⑦壱岐嶋分寺6284A——平城宮6284Aと同範——範型の移動
- ⑧豊前椿市廃寺6284F——平城宮6284Fと同範——範型の移動
- ⑨伊勢御麻生園廃寺6235B——平城宮6235Bと同範——保良宮廃止後範型が伊勢へ
- ⑩伊勢長者屋敷6719A——平城宮6719Aと同範——範型の移動
- ⑪河内新堂廃寺6667A——法華寺下層6667Aと同範——縣犬養橋宿禰三千代の本貫地
- ⑫河内新堂廃寺6671A——興福寺6671Aと同範

## B 異範瓦 (拓本・写真の比較では同範・異範が判断できず、現物相互の比較で異範と判明)

- ①信濃国分寺軒丸瓦——東大寺6235Aに酷似——工人の移動
- ②伊賀三田廃寺軒丸瓦——東大寺6235Aに酷似——工人の移動
- ③備前幡多廃寺軒丸瓦——平城宮に6225C酷似

## C 異範瓦 (型式番号だけでなく種まで、その類似した瓦が明確に確定できる。原型に類似)

- ①信濃国分寺軒平瓦——平城京6734Aに類似
- ②伊賀三田廃寺軒平瓦——東大寺6732Eに類似
- ③美作国府・国分寺・国分尼寺軒丸瓦・軒平瓦——平城宮6225C・6663Cに類似
- ④駿河片山廃寺軒平瓦——平城宮6663Cに類似
- ⑤備後岡遺跡他軒丸瓦——瀬後谷瓦窯6316新種に類似

## C又はD ①幡多廃寺軒丸瓦2種(6225CかA類似) ②賞田廃寺軒丸瓦(6225AかC類似)

- ③上総国分寺軒平瓦(6691AかB類似) ④本町遺跡軒平瓦(6721C他に類似)

## D 異範瓦 (型式番号を設定できるだけの類似点を有するが、種の類似点まで確定できない)

- ①幡多廃寺・賞田廃寺・片山廃寺軒平瓦(6663類似) ②日の出窯軒平瓦(6721類似)
- ③播磨本町遺跡軒丸瓦(6010類似) ④備後岡遺跡他軒平瓦(6710類似)

## E 異範瓦 (型式番号の主要な要素が異なる。どの瓦をイメージしたかが推定できる。)

- ①片山廃寺・上総国分寺軒丸瓦(6225イメージ) ②日の出窯軒丸瓦(6282イメージ) (山崎信二)